

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

●最近、強く考えること

会長 桜井 洋一

昨年11月に会長を引き受けし、4月に正式に会長を引き継いでから約半年が経ちました。就任してから、築地工芸会のために私に何ができるかと考えました。

築地工芸会の伝統を守るとともに、新しい時代に対応していかなければなりません。同窓会と理事会の運営を並行して刷新しなければならぬと考えました。その相談のために、理事会や分科会を頻繁に開催させていただきました。ご協力下さった理事の皆様から感謝しております。

まずは足元からと思い、若い理事の増強を図りました。FII科は私が会長をお引き



受けする直前に7名の若い理事に加わっていただきました。その後、各科合せて

5名の若い理事が加わりました。今後は女性の会員に理事になっていただきたいと考えております。

現在最も力を入れて取り組んでいるのは同窓会会費収入の改善です。事務局に会報(新聞)を配布している会員数と、それに対して会費を納入して下さっている会員数のリストを作ってもらいました。そのリストを元に、手始めとして各理事に自分のクラスメートに会費納入を促進する活動をお願いしました。その成果はまだこれからです。もうひとつ会費収入改善の施策として会費納入手続きの改善を試みています。まだ何とも言えませんが若い会員が会費を納入しやすい方法を検討しています。

会報(新聞)に関しても試みを始めました。ひとつは大きな収入源である広告を増やす活動です。同時に会報の編集スタッフも増強したいと考えております。OB展示も実現させたいと思っています。課題は山積みです。私の任期中に会費納入と会の若返りを少しでも改善したいと思っております。会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

「祝」

須田賢司氏 人間国宝に

7月18日、文化審議会(宮田亮平会長)は、木工芸の須田賢司さんを重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう、下村博文文部科学相に答申しました。これを受けて9月にも政府は答申通り告示することです。

木材を「柄」などで指し合わせて家具や箱をつくる指物技法と、国産材料に加えてフランス産の楓などを取り入れて制作された、小箆笥をはじめとする作品が高く評価されたものです。上記の内容は、各社新聞記事にも発表されています。

須田さんは昭和48年F科卒で、母校4人目の人間国宝となりました。おめでとうございます。



4月・個展会場での須田賢司さん

●主な受賞

- 1985年 第2回伝統工芸木竹展、文化庁長官賞受賞
- 1994年 第41回日本伝統工芸展、奨励賞受賞
- 2003年 群馬県総合表彰受賞
- 2006年 第53回日本伝統工芸展、優秀賞(朝日新聞社賞)受賞
- 2008年 第55回日本伝統工芸展、日本工芸会保持者賞受賞
- 2010年 紫綬褒章受章
- 東日本伝統工芸展「世界の眼」審査委員特別賞受賞
- 熱海MOA美術館賞受賞

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064
東京都千代田区猿楽町2-8-16
平田ビル8階

電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

本年4月14日以降、本年8月20日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

湯沢宋江、石倉孝、大場康博、天川博邦、川本昭一、伊藤早苗、中代源次郎、大滝史博、平野堯久、米山彰二、丸山士郎、川津敬介、浅井将治、石島楓、中野清、馬場和夫、竹内幸太郎、穴吹昭勝、阿部達夫、浅黄由美、大塚晃啓、遠藤佑治、鈴木宣喜、福本章、藤井喜代子、桑原幸雄、原典生、片岡良亮、時田桂代、青山龍雄、五反田稔、田代智隆、渡辺儀太、中尾正直、岡田里美、糸魚川江里子、筒井健郎、小平確、乙部博一、増田孝機、大島文夫先生、成瀬杏子、山田二三雄、岩井昌代、佐野勝彦、高田宏樹、中島隆、成田真一郎、大久保勇、其田正秋、細江邦雄、中村輝雄、橘正春、大沼正道、塩原巖先生、荒井拓哉、松井眞矢、福田哲夫、中山清、池辺武彦、神山隆夫、青柳宏、深野俊樹、井上正治、満留次男、塩田真梨奈、古木嘉雄、小林紀之、立石正直

平成26年度累計

一四〇、三〇〇円

●第51回中京工芸会

総会のご案内

昨年は第50回という大きな節目の総会でした。これまでの50年間、歴代の諸先輩の方々が築き上げて下さった中京工芸会の灯を消してはいけないという思いで、いっぱいです。

愛知県・岐阜県・三重県に在住の皆さん、別途事務局より、案内状を送りますので是非出席のご返事を頂けるとを期待し、楽しみにしています。

▼日時：10月19日(日) 13時

▼場所：名古屋 料亭 「大森」

名古屋西区城西4-30-3

TEL 052-522-8331

中京工芸会副会長

五反田 稔(昭35・M卒)

●「関西工芸会の集い」

ご案内

今年の「関西工芸会の集い」は、左記の日程で詳細の検討を進めています。が、会場は今までと趣向を変えて、京都・嵐山で開催いたします。どうぞご期待ください。

▼日時：11月3日(月・文化の日)

12時～ 京都・嵐山にて

詳細は後日案内状にてお知らせしますので、奮ってご参加下さい。

関西工芸会会長

丸山 士郎(昭43・A卒)

◆平成26年度

第1回理事会報告

平成26年7月1日午後6時から母校会議室において、平成26年度第1回理事会が開催されました。

1. 平成26年度総会報告

5月24日(土)母校において、総会が開催された。参加人数・80名

2. 同窓会会費納入の現状について

会報(新聞)を送付している会員約4000名に対して年会費を納めている会員は、約1200名しかない。この現状を改善するための議論が行われ、次の点が確認された。

①理事のクラスメートに会費納入の協力を呼び掛ける。

②新規広告主を募集する。

3. 「OBギャラリー」について

8月18日に委員会を開催し、具体的方針を確認する(委員会実施済み)。

4. 工芸基金報告

桜井会長から工芸基金、平成25年度実績、平成26年度予算について説明があり、それに対する質疑応答が行われた。

5. 新理事承認

次の4名の方が理事に推薦され、承認された(敬称略)。

A科：坂巻章雄(昭和55年卒)

佐藤充俊(平成17年卒)

P G科：中村輝雄(昭和38年卒)

福田善志(平成13年卒)

訃報

前回の会報161号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

(一)内は逝去された日です。

川島 昌治氏	昭9・M卒	(26・1・31)
高橋 勤氏	昭10・P卒	(25・10・25)
岡田 進治氏	昭13・M卒	
井上 庸氏	昭16・M卒	(26・7・30)
木内 豊彦氏	昭16・P卒	(25・10・23)
豊田 尚氏	昭17・F卒	(25・12・28)
長井 久夫氏	昭18・M卒	(24・)
北久保昭三氏	昭20・M卒	(25・9・13)
斉藤 正氏	昭20・M卒	(25・9・23)
高橋 嘉辰氏	昭20・M卒	(25・11・7)
加藤 昭二氏	昭21・P卒	(26・8・8)
山内 正三氏	昭23・A卒	
大谷 義隆氏	昭23・P卒	(26・6・1)
菅谷 文夫氏	昭24・A卒	(26・8・1)
三橋昇太郎氏	昭25・P卒	(25・2・8)
柳沢 朗氏	昭25・P卒	(26・1・23)
小沢 實樹氏	昭25・P卒	(26・2・1)
大岩 伸光氏	昭27・P卒	(25・7・6)
宮山 雄治氏	昭28・A卒	(25・)
石川 昇二氏	昭28・M卒	(25・10・18)
津久井良成氏	昭28・F卒	(23・)
山口 正志氏	昭34・A卒	(26・2・22)
寺島 實氏	昭34・A卒	(23・8・3)
渡辺 盟氏	昭34・M卒	(25・10・13)
和仁紀公雄氏	昭34・M卒	(26・8・14)
佐藤 弘光氏	昭38・D卒	(25・7・24)
村山 芳昭氏	昭39・F卒	(25・6・)
常山 順子氏	昭49・A卒	(26・1・15)

● 校友の活躍

次の方々の個展がありました。

◎ 個展

「木の邦に生まれて」

木工芸 須田賢司の仕事 vol. 2

(昭和48・F卒)

日本橋三越本店 本館6階

美術工芸サロン

木の邦に生まれ、

木の香りに囲まれて育ち

清雅の二文字を標とし、私らしい

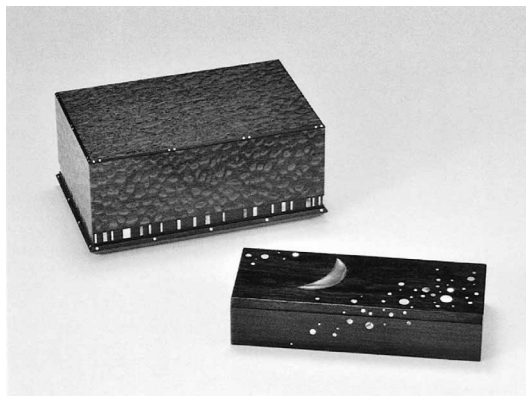
木工芸を目指してまいりました。

現代の工芸は「使う」ことより美そのものに重きを置くことが多いようです。

しかし愛らしい工芸品を身近で楽しむ

こともやはり工芸の変わらぬ姿でしょう。

須田賢司 (個展案内状より)



拭漆嵌装香盒「月華」
黒檀拭漆嵌装文鎮「銀漢Ⅰ」

2014 ギンザ・グラフィック・ギャラリー 企画展第334回
永井裕明展 (昭和51・D卒)



個展会場での永井さん

松原伸生藍形染展神楽坂

(昭和59・D卒)

神楽坂アートギャラリー

小林 実 写真展

(昭和47・P卒)

富士フォトギャラリー新宿スペース1

◎ 出品

第43回伝統工芸日本金工展

千住・石洞美術館

伝統工芸日本金工展は、鍍金、鍛金、

彫金等の金属工芸の保存と発展を目的

として開催されています。43回目の今

回は30歳未満の若手作家の奨励を目的

として、「+21部門」が新設され、工

芸卒の4名の若手作家が参加しまし

た。会員および一般参加は、5名です。

「+21」

福田 志穂氏 (平成24・A卒)

蝶象嵌ブローチ

藤原 優貴氏 (平成23・A卒)

蟹脚小箱「カニ缶」

吉松のぞみ氏 (平成23・A卒)
赤銅象嵌紫陽花水滴
小山田玲香氏 (平成24・A卒)
ツキハコ



21+金工部会賞を受賞した藤原優貴氏の作品
蟹脚小箱「カニ缶」

田口 壽恒氏 (昭和34・A卒)

人間国宝

鍛籠銀建水

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

蟻文菓子器

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

正会員

接合せ水滴

木村 太郎氏 (平成9・A卒)

正会員

鍛黄銅亀甲羅鉢

佐藤 充俊氏 (平成17・A卒)

一般

銀象嵌打出小箱

宝石・石止全般
株式会社 株式会社 タカギ彫金工芸
代表取締役
高 木 実 (A・48卒)
〒111-0054 台東区鳥越 1-23-5
電話(03)3866-0961(代)



(写真提供：石洞美術館)

● 校友の活躍

次の方々の出品がありました。

◎ 出品

第32回木葉会展

新宿区立区民ギャラリー

・ 油彩

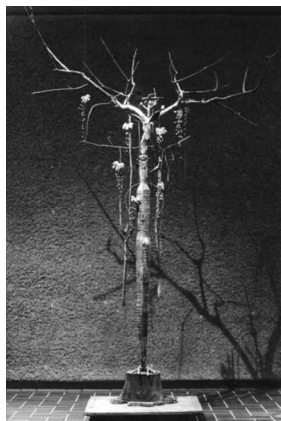
石川 省吾氏 (昭和12・P卒)

第62回 創型展 2014

今回の創型展では、4名の方が出品しました。また、福本晴男さん・渡邊賢二さんは審査委員を務めています。

福本 晴男氏 (昭和35・F卒)

「山河麗し」・「悲しみが立つⅡ」



山河麗し

佐野 一義氏 (昭和17・F卒)

「あすか」・「裸婦立像」



裸婦立像

渡邊

賢二氏 (元M科教員)

「午神将 (十二神将)」

「酉神将 (十二神将)」

「じっと、していられない」



じっと、していられない

三木

雄志氏 (昭和42・F卒)

「青麦」



青麦

上野公園・
東京都美術館・ギャラリー

「投稿を歓迎します。」

*皆様の個展、出品、受賞、クラス会等の様子をお知らせ下さい。

郵送先・築地工芸会 (工芸高校の住所)

メール送付先: taquya@nifty.com

書籍と雑誌のデザインで活躍した多川精一氏

大正12年、東京生まれ。昭和16年12月、東京府立工芸学校本科製版印刷科卒業。昭和17年1月、原弘の助手として東方社に入社、対外宣伝誌『FRONT』の制作に参加する。

戦後、装幀・レイアウトを中心に『週刊サンニクス』『岩波写真文庫』『月刊太陽』『季刊銀花』『るるぶ』他多数の書籍・雑誌のエディトリアルデザインに携わる。出版学校日本エディタースクール講師。

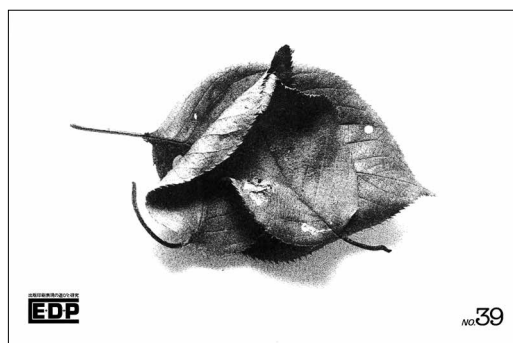
著書に『現代レイアウト入門』『エディター講座・レイアウト入門』『岩壁・稜線』『花の山旅』『戦争のグラフィズム』『焼跡のグラフィズム』『広告が生涯の仕事に非ず』などがある。出版研究誌として個人雑誌『E+D+P』『紙魚の手帳』を主宰。平成25年6月15日に亡くなられた。



東方社美術部スタッフ。左から原部長、蓮池、今泉、多川。昭和17年



『紙魚の手帳』28号表紙



『E+D+P』39号表紙



『FRONT1-2海軍号』表紙

● 校友の活躍

◎ 出品

世田谷平和美術展

世田谷美術館

美楽舎第32回マイ・コレクション展

ACT (アートコンプレックス・センター)

2014かわさき平和美術展

アートガーデンかわさき

・ 油彩

岩井昌代氏 (昭和39・D卒)

あれから55年

昭和34年定時制F科卒 関根 伸司

あの日は定時制の授業4科目が終わって、誰もいない寒い体育館でのこと。W君と卓球をしていると、そこに巡回中の津久井先生が通って「早く帰るなさい」と告げて行った。

W君と卓球台を元の位置に片付けるので天板の横を2人で向かい合って持ち上げた。なぜか自分の方だけ突然天板が脚から外れ「バリッ」という音と共に天板が上に捲り上がるように、2つに折れてしまった。

大変な失態をしてしまった事にどうしようかと迷ったが、その日はとにかくそこから逃れることにした。薄暗い廊下を早足で宿直室前を通って校舎を出た。校庭を照らしている明かりは既

に消されていた。

翌日、ことの顚末を話しに教員室に向かったが、誰に打ち明けたらいいのかわからなかった。か、また何を言われるのかと思うと怖くなり言い出せずに入れなかった。だからあの卓球台を誰が使っていたか知っていないのは津久井先生しかいないわけ、どうせ後日授業(物理)があるのでそのときに言われるな、と覚悟をさめていた。ところがその日は何事もなかったように何時ものように授業は

進み、そのことにはひと言も触れることはなかった。今思うと寛容に扱ってもらえたのかなあ、と勝手に想像してしまった。

それから何日かして体育館を通ると、なんと、壊してしまった卓球台が修理されて使えるようになっていた。はい、その状態は縦に割れた部分の両側を真っ直ぐに削り、その間に約2センチ幅の新しい木材を挟み、表面は平らに削り合わせてあった。

ダークグリーン色の天板に挟まれた木材は無塗装なのでそこだけ木地色が表れ、目立っていたのを覚えている。でもあれを直すにはかなりの木工技術を習得した経験者でないと出来ないことが現役時代になって分かった次第です。そして校内のどなたが直されたのか知りたいところですが「ありがたい」と、心の中で感謝しています。それにしても、あの卓球台は今どうしているのかなあ。

プラスチック 金型製作	真空成型 プレス抜型	圧空成型 トムソン抜型
企画 デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ		

V-MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031 東京都墨田区墨田5-23-11
tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559
埼玉工場・〒340-0831 埼玉県八潮市南後谷107-5
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-
<http://www.vmold.co.jp/>
e-mail: caduser@vmold.co.jp

広告制作会社 たきグループ グループ創業者 滝澤方美 D3(昭29)

(株)たき工房 (株)たきホールディングス (株)日本コマーシャルフォト
(株)ブラン (株)ワークアップたき (株)インパクトたき (株)たきC1 (株)タクト

株式会社たき工房
本社:〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351 (代) URL:<http://www.taki.co.jp>

技術資料の制作

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション.エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
<http://www.station-m.co.jp/> e-mail: hosoe@station-m.co.jp

クラス会

●35機 会（昭和20年本科M科卒）

最終閉幕クラス会

平成26年度クラス会は、斉藤 稔、酒寄昇一、庭屋健二、堀井良夫、鈴木規尹の5名の出席で、いつものようにビールで乾杯、ワインを飲み料理をたのしみながらすすみました。「振り返るとクラス会は、どの年を切り取ってみてもみんな愉しかった」との感想や、昭和35年の伊豆小温泉の一泊クラス会、昭和50年の卒業30年を記念して新倉先生をお招きしたクラス会、平成10年の「思い出の記」出版記念クラス会などのイベントへの共通の想い、そして近年の「老い」を感じながらの出席、級友の相次ぐ逝去などの思い出が語られました。さてこの度の出席5



35機 会（昭和20年本科M科卒）

名はこれまでの最少でありました。また、来年は更に減少が予想される状況を勘案し、今回をもって閉幕とするとの合意に至りました。開戦の年昭和16年に入學し、終戦の年20年に4年で卒業した35機 会に多くの思い出を残しながら、級友諸兄が氣力、体力を奮って生き幸あらんことを願って終わりとなります。（鈴木規尹）

●昭和29年全日制A科卒クラス会開催

平成26年5月22日(木)に横浜みなとみらい地区の東天紅桜木町にて、安原先生をお招きして級友8名でクラス会を開催。

各人の近状報告・現役時代の過ごし方に加え、話題として、健康上の問題や級友の動静、恩師の消息などと、社会情勢の政治・経済・マスコミ批判な



昭和29年全日制A科卒クラス会

ど多岐に渡り、レベルの高いクラス会と先生からお言葉を戴くほど、楽しいひと時を過ごし、予定時間を1時間オーバーしての懇談でした。

来年は傘寿を迎えるので盛大に行うこととし、健康に留意して再会を誓って散会しました。

その後、有志で山手にある北原照久氏のコレクションのブリキのオモチャ館を見学しました。

（幹事・山田・南部（記））

●昭和29年定時制M科卒クラス会

ついに80歳。傘寿記念クラス会を5月21・22日に秘湯沢渡温泉（群馬県）で行いました。参加者10名。水道橋母校校舎前に集合。小型観光バスで一路関越道を北上。榛名湖畔で昼食。木造のひなびた、まるはん旅館に投宿。松の温泉風呂でくつろぎ、ゆつくり、のんびりクラス会。翌日は榛名神社に詣でて、慾深く、更なる長寿を祈願して帰路に着きました。（田嶋昭郎）

●昭和32年全日制F科卒クラス会

平成26年5月17日(土)、新宿・炭火焼「今半万窯」。

私たちの恩師・牛込源晃先生の「卒寿の祝い」に奥様同席、「クラス会」を兼ねて13名が集まりました。

2年振りのひととき。牛込先生が元氣な声で、直筆の卒寿奉上「六訓」を朗読。年を取っても先生と生徒（教え

子）の関係は変わりません。その先生が、改めて人生の心構えをお話しされたのでした。

（森谷延周）



昭和32年全日制F科卒クラス会

ic用各種タイバーカッター

各種専用機 設計製作

(有)神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫
定M13 (昭36)

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

●昭和36年全日制P科卒クラス会

5月20日、懐かしく母校を見学させていただきました。

昭和36年に卒業し、半世紀前と変わり、学校の授業内容も大きく進歩をとげておりました。学校としてその時代に追従するのではなく、次世代の生徒を育成するという大いなる使命の中にある工芸は、大変な時代にあると思いました。皆一様に「我々の生まれた時代が早かったな!」と言いますが、半世紀過ぎればまた同様なことを言うだろうと思います。

懇親会での写真を送りました。母校見学を入れたため平日となり出席者が少ないのですが、現役の方々の情報を



昭和36年工芸印刷科卒クラス会 2014.5.20.

昭和36年全日制P科卒クラス会

各自報告、欠席者についても知る限り報告し、20名弱の消息を確認出来ました。残念なのは、4・5名程ですが亡くなられていることでした。(片山忠久)

●昭和39年全日制A科卒

日本新工芸展・伝統工芸日本金工展

見学会

新国立美術館で行われました日本新工芸展を5月18日に、担任の安原敏郎先生及び同級生で見学会を行いました。同級生の田中照一氏の作品を本人に解説していただき、他の作品も説明を受けながら拝見いたしました。

千住石洞美術館の伝統工芸日本金工展を、6月8日鹿島和生氏の解説で安原先生及び同級生で見学、いずれも終了後懇親会を行い散会となりました。

(坂巻 亨)



昭和39年全日制A科卒 日本新工芸展 見学会

●卒業50周年記念同窓会に集結 併せて母校表敬訪問 昭和39年D科卒

去る4月12日、私たちデザイン科卒業の18名が水道橋駅近くの『庭のホテル東京』内〈流〉に集い、3年間私たちの担任を務められ現在福岡県在住の恩師益田凡夫先生をお招きし、表記同窓会を開催しました。

当日午後4時半、先ず、有志8名にて母校を表敬訪問しました。事前をお願いしていたといえ土曜日の休日にも拘わらず神山隆夫先生(昭和43年A科卒)のご尽力とご厚意により、私たちを出迎えてくださり、美しく立派になった校舎内を案内していただきました。紙面にて改めて御礼申し上げます。

振り返れば、私たちが入学した当時は図案科でしたが、1年後にデザイン科と改称されたように記憶しています。

卒業した昭和39年は、東京オリンピックの開催と東海道新幹線が開通した年でもあり、世は正に高度成長期に向かっていく時代でした。

さて、本番の5時半、工芸高校から10分ほどの会場に参加者が集まりました。

益田先生は、私たちの卒業と同時に福岡教育大学に転任、教授として定年退官されてからは名誉教授に列せられ、熊本大学・岡山県立大学に招かれて、大学院の開校やデザイン学部開設にご尽力されました。一方、自らの制作活動にも意欲は衰えることなく、定

期的に個展を開かれています。

先生は、決して教え子の考えを否定せず、その誠実で生真面目な性格を生意気盛りの私たちは本能的に見抜き、尊敬と信頼を込めて『凡ちゃん』と陰で呼んでいました。

会に先立ち、先生から50周年記念に参加者全員に額入りの作品を贈呈されました。引き続き、故人となられた級友3名に哀悼の意を捧げ黙祷、再会を祝う乾杯に次いで、参加者全員の現在を紹介しながらの会食となりました。卒業以来初めて会う人もあったりで、和氣藹々、時間の経つのも忘れるほど楽しい一時でした。

50年の歳月は、1人1人の容貌を変えていましたが、懐かしい友に出会って昔ながらの言葉遣いで話し、心に明かりが灯るような温もりを感じた同窓会でもありました。

渡部實忍(旧名/勝)

昭和39年D科卒
卒業50周年記念クラス会

母校だより

全日制

MACHINE CRAFT

●危険物取り扱い扱い乙種第1類
11名合格

●危険物取り扱い扱い乙種第3類
1名合格

●危険物取り扱い扱い乙種第5類
2名合格

●危険物取り扱い扱い乙種第6類
2名合格

●計算技術検定1級合格
2年 佐藤啓龍

●機械製図検定
3年 木下祐希 中山葉月

●色彩検定 2級 3年 1名合格

●ジュニアマイスター顕彰
ゴールド 3年 木下祐希
シルバー 3年 小池吾郎 中山葉月
2年 佐藤啓龍

INTERIOR

●第8回ものデザインコンテスト
クラフト部門 優良賞

2年 加藤ゆかり 宇野澤歩

山内映李 篠崎美月

●インテリアデザイン部門 優良賞
2年 池田悦子 伊藤大地

村山恵実子

●第56回 建築CAD検定試験
2級 3年 5名合格

3級 3年 2名合格

●レタリング検定
3級 2年 30名合格

●色彩検定
3級 2年 5名合格

2級 2年 2名合格

●色彩検定
3級 2年 1名合格

DESIGN

●(冊子) 都立高校に入学を希望する
皆様へ

表紙原画作成 3年 大田 晴

挿画作成 2年 齋藤彩樹
山本万貴

●25年度学校要覧
表紙原画作成 3年 佐藤文音

●文京区社会を明るくする大会
ポスター、パンフレット原画作成
2年 山野実桜

パンフレット原画作成
1年 伴 聖葉

●レタリング技能検定
3級 2年 35名合格

2級 2・3年 6名合格

1級 3年 1名合格

●色彩検定
3級 2年 4名合格

2級 2・3年 9名合格

コンクール等の入賞者・成績

部活動報告(全日制)

水泳部

●第39回文京区民水泳大会
3年A 三上莉穂

50M・100M自由形 優勝

3年M 香取 輝 50M自由形 3位

50M平泳ぎ 3位

1年M 貝原海帆 50Mバタフライ 3位

1年D 伴 聖葉 50M平泳ぎ 3位

陸上部

●都大会出場
2年D 小島彩加 砲丸投げ

山岳部
●インターハイ出場

2年M 石塚 恵

2年I 柏木今日子 吉野蒼央

1年I 中川花琳

定時制

●第8回建築系高校生対象コンペティション(中央工学校/中央工学校OSA KA主催)
奨励賞 3年I 長井剣一

渡部 桜

●第5回高校生対象コンテスト
『夢のマイルムコンテスト』

佳作 3年I 渡部 桜

●「警視庁少年育成課リーフレット表紙採用」

2年G 石川咲輝

●計算技術検定
2級合格 4年M 南川 育

3級合格 2年M 飯塚明日香

太田飛鳥 中野あすか 福本勇樹

本間理正 三木麻莉

部活動報告(定時制)

剣道部

●平成26年度東京都高等学校体育連盟
定時制通信制剣道全国大会
1年A 山田美来 東京都代表決定

●第45回全国高等学校校定時制通信制剣道大会
女子団体優勝
(東京Aチーム・先鋒)

1年A 山田美来

柔道部

●平成26年度東京都高体連定通制柔道
春季大会
個人戦 65kg以下級
3位 3年G 西山泰斗

団体戦 3位

平成26年度 工芸祭

平成26年11月1日(土)・2日(日)の2日間、母校に於いて「工芸祭」が開催されます。後輩の勉強の成果をどうぞご覧ください。
PTAのご厚意により、PTA談話室(1階会議室)で休憩できます。ご利用ください。